

すこやか アイドル



いそぎま お
磯崎麻央ちゃん(2歳)
優しい子になってね!



ふくし ちはる
福士千晴くん(2歳)
元気いっぱい育ってね!!



や え がしおうすけ
八重樫旺介くん(2歳)
元気に大きくなってね!



はま だ
濱田あすなちゃん(2歳)
動くことが大好き!これからもお姉
ちゃんと仲良くいっぱい遊ぼうね。



さ の ひまり
佐野陽例くん(2歳)
元気に大きくなってね!!



いわい あかり
若井 灯ちゃん(2歳)
元気で優しい子になってね!

※「すこやかアイドル」では、お子さんの笑顔とご家族のメッセージを紹介します。
1〜5歳くらいのお子さんの写真を広報に掲載しませんか?
市広聴広報課 ☎27-8419) までぜひご連絡ください。

岩手大学釜石キャンパスだより

釜石キャンパスの人と取り組みを紹介します

―水産に興味を持ったきっかけは―
東京の八王子市で育ち、子どものころから山や川が遊び場でした。幼い頃から魚が好きで「進学先は魚の勉強のできるところ」と決めていました。加えて、生まれが宮城県ということもあり、「震災の被害を受けた三陸沿岸に少しでも貢献したい」という思いもあり岩手大を選びました。

―研究内容を教えてください―
「海面養殖に向けたトラウトサーモン(ニジマス)の海水適応評価」という研究です。ニジマスは、自然界では海水適応した個体だけが川から海へ降りますが、養殖の現場では淡水から海水に移行しようとする、適応できず死んでしまう個体が発生します。海水移行の前に、どのくらい海水に適応できるかを評価する方法があれば死ぬのを防止できると考えています。

―釜石での暮らしはどうですか?―
正直なところ、震災のあったまちで皆さんがどう暮らしているのか全く未知の状態でしたが、2年弱住んでみて、釜石はもうひとつ



大学院総合科学研究科
地域創生専攻
地域産業コース
水産革新プログラム1年
塩谷 一樹 さん

の故郷になったように感じます。引越してきたところ釜石湾に昇る朝日にとても感動したのですが、学業やアルバイト、趣味の剣道や自動車つながりのできた皆さん、の温かさや力強さはあの朝日にも似ているように感じます。皆さんから受けた優しさへの感謝を胸に研究に励んでいます。



個体識別タグの打ち込み

釜石さかなクイズ ④ 上級編

次の説明にあてはまる魚は何でしょう?

川で生まれ、一生を川で過ごすものがいて、
渓流釣りの人気魚種です

春になると沿岸の定置網でたくさんとれ
「ます」と呼ばれます

新たな国産養殖魚として注目され、釜石で
養殖が始まりました

正解は1月15日号の本コーナーで!

釜石さかなクイズ③の正解 「エゾイソアイナメ(ドンコ)」

こどもはぐくみ 通信

問い合わせ
市子ども課
☎22-5121

「ホッ●とカード」をご存じですか?

「ホッ●とカード」とは

市内に住所があり、幼稚園・保育所などに入所していない未就学児が一時預かり保育および病後児保育を利用する際に、3万円または5万円を補助する、市独自のお得なサービスです。サービス利用時にカードを提示いただくと、利用料の全部または一部が免除されます。

利用できるサービス

- ◆ファミリー・サポート・センター
 - ◆保育所等で実施している一時預かり保育
 - ◆病後児保育
- ※利用する際は必ず各施設に受け入れ可能か確認してください。利用者が満員の時は、受け入れできない場合があります

利用限度額

3万円 ※ただし、利用者の母が妊婦である場合、利用者に満1歳未満のきょうだいがいる場合などは5万円となります

※申請の方法など、詳細は、市のホームページをご覧ください、市子ども課へお問い合わせください



市のホームページ

申し込み・問い合わせ 市子ども課 次世代育成係 ☎22-5121

子ども(高校生)医療費給付申請を受け付けています

市は、子育て支援の一環として、10月から子ども医療費給付事業の対象年齢を「高校生年齢帯※」まで拡大しました。

※高校生年齢帯…18歳に達する日以後の最初の3月31日までの子ども。高校に就学しているかどうかは問いません

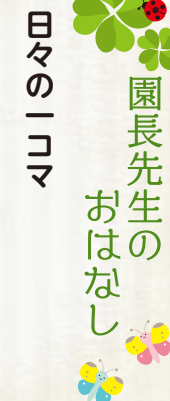
対象 市内に住所を有する高校生年齢帯までの子ども
※生活保護受給世帯は対象となりません。また、所得制限があります

申請方法 6月中旬に市から発送した申請書に記入し、市市民課に提出してください。申請書は市民課窓口に備え付ける他、市のホームページからダウンロードできます。受給開始日は申請月の1日からです。



市のホームページ

申し込み・問い合わせ 市市民課 医療給付係 ☎27-8450



日々の一コマ

平田こども園 園長
小松 美香

これは私が母になって4、5年目のお話です。このころ、育児や家事、仕事…と忙しくしていた中で、長男とのやりとりで気付かされた一言を恥ずかしながらお話ししようと思います。

まだ長男が3歳児で次男が生まれて間もないころに、バタバタと動いていた私。長男がなかなか夕飯を食べなくて、30分以上ほとんど口に入らずイライラしていました。その時は「なんで食べないの」と怒った記憶があります。怒りながら食べさせた日、夜寝る前に長男から「お母さんごめんね。笑って」と言われました。その時「あっ」と思ったのと、自分に余裕がなかったことに気付かれました。「お母さんごめんね」と話しながらすぐ後悔しました。日々忙しく過ごす中で、思い通りにならない事もたくさんあると思います。それでも、わが子はやはり大切でかけがえのない宝物です。普段何気ない親子の関わりの中で、親が笑顔でいるだけで子どもは安心できます。ほんの少しでもゆっくり笑って今日の話をできる時間の大切さを、皆さんも大事にしていきたいと思います。